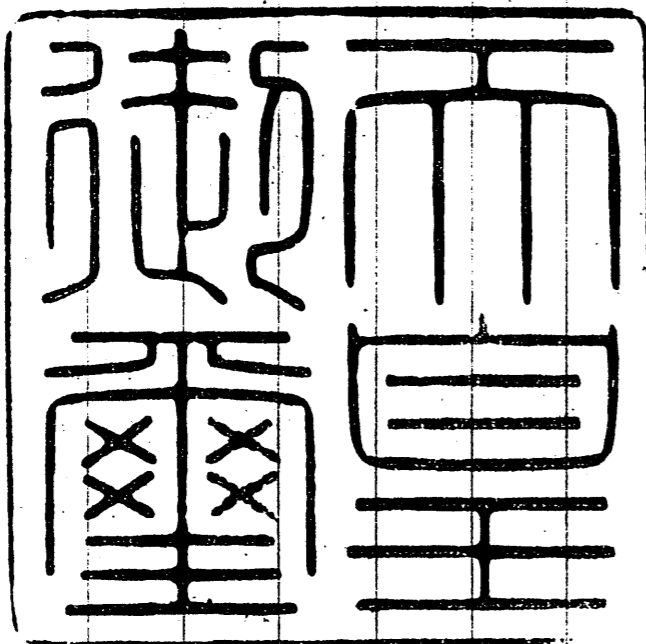


勅令第三百三十一號

聯合國語審議會官制ヲ裁可シ茲ニ之
ヲ公布セシム

裕仁

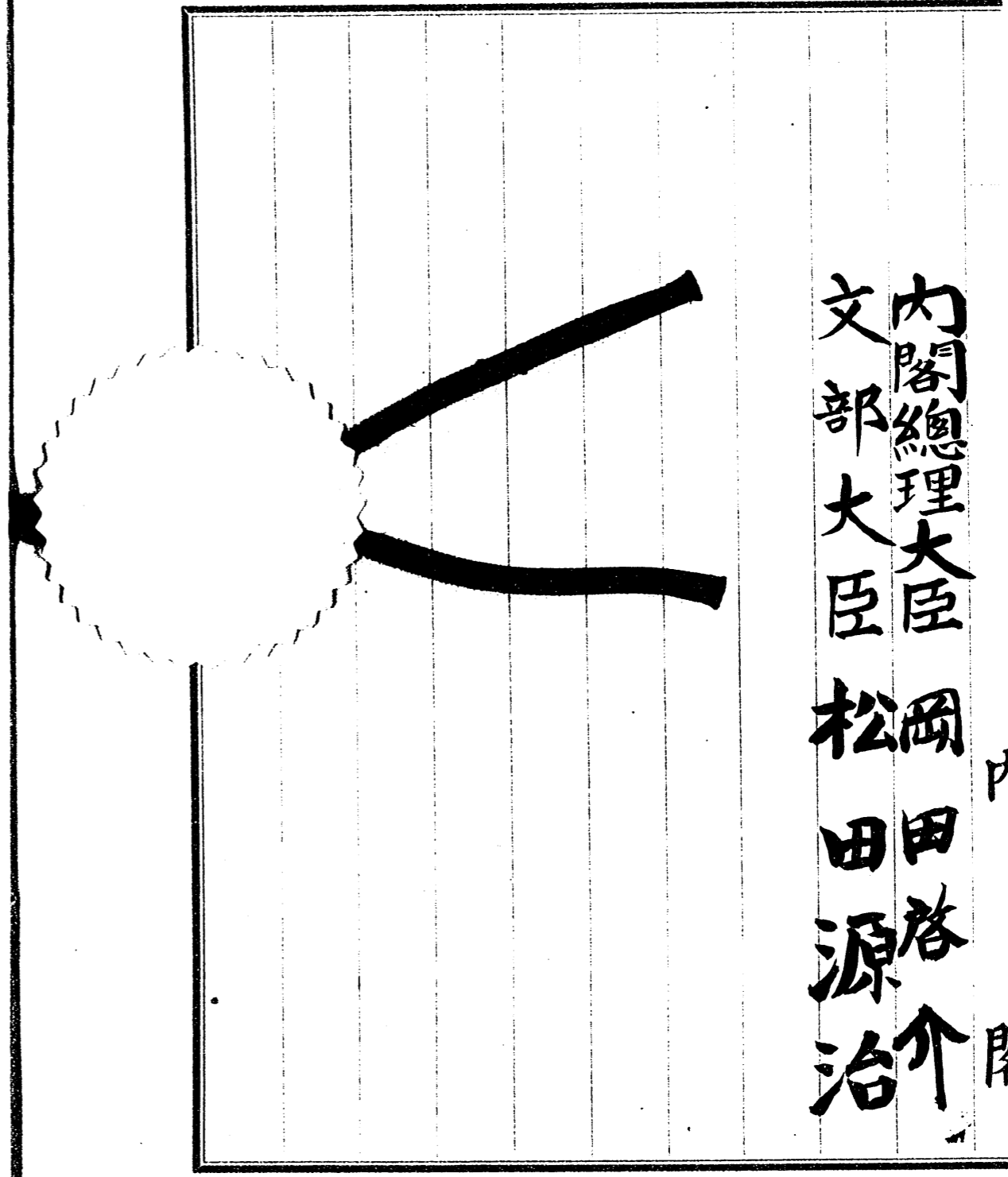


昭和九年十二月二十一日

日

期

内閣總理大臣 岡田啓介
文部大臣 松田源治



勅令第三百三十一號

國語審議會官制

第一條 國語審議會ハ文部大臣ノ監督ニ屬シ其ノ諮詢ニ應ジテ

國語ニ關スル事項ヲ調査審議ス

國語審議會ハ前項ノ事項ニ付關係各大臣ニ建議スルコトヲ得

第二條 國語審議會ハ會長一人、副會長一人及委員三十五人以

内ヲ以テ之ヲ組織ス

特別ノ事項ヲ調査審議スル爲必要ナルトキハ臨時委員ヲ置ク

コトヲ得

第三條 會長、副會長、委員及臨時委員ハ文部大臣ノ奏請ニ依

リ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

第四條 會長ハ會務ヲ總理ス

副會長ハ會長ヲ輔佐シ會長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス
會長及副會長事故アルトキハ文部大臣ノ指名シタル委員其ノ
職務ヲ代理ス

第五條 會長及副會長ハ會議ニ於テ意見ヲ陳述シ可否ノ數ニ加
ハルコトヲ得

第六條 文部大臣ハ必要ニ依リ又ハ會長ノ請求アルトキハ文部
省高等官其ノ他適當ト認ムル者ヲシテ會議ニ出席シ意見ヲ陳
述セシムルコトヲ得

第七條 國語審議會ノ議事ニ關スル規則ハ文部大臣之ヲ定ム

第八條 國語審議會ニ幹事ヲ置ク文部大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ

於テ之ヲ命ズ

幹事ハ會長及副會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理シ臨時命ヲ承ケ
國語ニ關スル事項ノ調査ニ從事ス

第九條 國語審議會ニ書記ヲ置ク文部大臣之ヲ命ズ
書記ハ會長、副會長及幹事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

臨時國語調査官官制ハ之ヲ廢止ス